ベトナム投資開発銀行（BID）

New-S Wealth Management

《企業紹介》

同社は、1957 年に財務省によって設立されたベトナム建設銀行を前身とするベトナムで最も古い銀行である。1981 年にベトナム国立銀行の傘下となり、1990 年に現社名となった。国営 4 大銀行の一つで、2025 年 12 月末の総資産額は上場銀行中で最大の規模を誇り、2025 年 12 月期の税前利益は上場銀行中 3 位となっている。同社の強みは政府系金融機関としての信用力と、全国 63 省・市に展開するネットワークに裏打ちされたリテールバンキングでの存在感であり、住宅ローン、消費者ローン、ビジネスローンなどの個人向け融資が成長のドライバーとなっている。

《2026 年 7―9 月期業績》

2026 年 7－9 月期の営業収入(対応費用を差し引いた純額、以下収入は全て純額）は前年同期比 9.7%増の 23.2 兆 VND（ベトナムドン）だった。金利収入は同 12.4%増の 17.0 兆 VND となった。貸出債権残高は同 15.0%増の 2,526 兆 VND になったことが牽引役だったが、預貸利ザヤも前年同期比横ばい圏を維持したとみられる。厳しい競争環境下にあって、バランスのとれた結果だったと評価できるだろう。手数料収入は同 7.2%増の 1.8 兆 VND となった。金融サービス需要の増加が増収を牽引した。その他収入は同 1.0%増の 4.2 兆 VND にとどまった。外国為替売買益が増加したが、投資有価証券売却益の減少が足を引っ張った。

税前利益は同 39.3%増の 10.5 兆 VND となった。営業収入の増加に加え、営業費用が同 8.3%増の 7.9 兆 VND と抑制的だったこと、貸倒引当金が同 25.0%減の 4.6 兆 VND に減少したことが税前利益を押し上げた。純利益は同 39.9%増の 8.3 兆 VND となった。預貸利ザヤの改善は一進一退だが、貸出債権残高の増加とほぼパラレルな金利収入の増加基調を維持し、利益水準の向上を達成している。期待していた貸出債権の増加と預貸利ザヤの改善が両輪となった利益水準上昇は困難になっているが、ベトナム経済の拡大に牽引された資金需要の増加を着実に利益成長に結びつけることは十分に期待できるだろう。

図表1　四半期業績の推移（単位　十億VND）

	2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1－3月期		2026年4-6月期		2026年7-9月期	
		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）
営業収入	21,154.2	22.6	30,072.1	13.7	20,697.6	15.6	23,637.2	7.0	23,206.3	9.7
（うち金利収入）	15,172.6	8.5	19,185.2	22.7	15,733.7	12.8	17,804.2	18.8	17,056.0	12.4
（うち手数料等収入）	1,733.5	17.5	1,765.1	−10.4	1,624.9	5.6	1,959.1	3.8	1,858.4	7.2
（その他収入）	4,248.0	136.8	9,121.9	3.2	3,338.9	38.3	3,873.9	−25.7	4,291.9	1.0
営業費用	7,374.5	16.9	9,780.8	2.2	6,628.0	12.2	7,483.9	1.6	7,986.9	8.3
貸倒引当金	6,185.9	38.9	6,136.2	−10.3	5,498.0	20.1	5,820.3	−4.6	4,640.5	−25.0
税前利益	7,593.8	16.9	14,155.1	41.1	8,571.6	15.6	10,333.0	19.8	10,578.9	39.3
純利益	5,953.0	15.6	11,355.9	44.1	6,800.8	16.4	8,146.3	20.6	8,330.7	39.9
貸出債権残高	2,197,470.8	14.8	2,338,009.5	15.9	2,392,549.4	15.7	2,467,112.3	15.2	2,526,923.9	15.0
貸倒比率(年換算、%)	1.1	−	1.0	−	0.9	−	0.9	−	0.9	−

注1　収入は全て対応費用を差し引いた純額
注2　貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4（年換算）で計算(%)
注3　2025年10－12月期の数値は2025年12月期の監査済み決算数値をもとに計算した数値である
出所　会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会　　有効期限作成日より 180 日　　News20261117
主な事業　金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

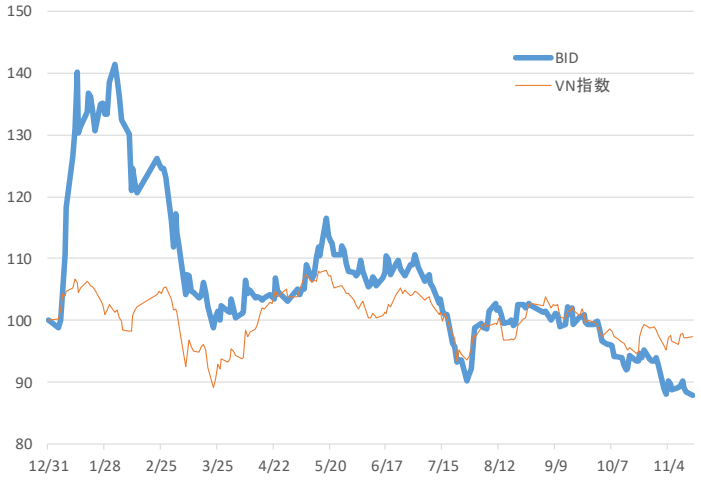
ベトナム投資開発銀行（BID）

New-S Wealth Management

《株価の推移》

同社の株価とVN指数の2025年終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は、2026年の1月から2月にかけての一時期を除き、ほぼVN指数に連動した動きをみせているが、10月下旬以降は下落の動きを強め、アンダーパフォームに転じつつある。11月6日終値時点でVN指数が2025年末比3%の下落となっているのに対し、同社の株価は11%の下落となっている。11月6日終値31,950VNDで計算した時価総額は248.5兆VNDで、これは2025年12月期実績の純利益29.9兆VNDに対して8.3倍の水準となっている。期待されていた預貸利ザヤの改善が足踏みしている決算を受け、株価パフォーマンスが悪化した可能性がある。ベトナム政府はインフラ投資などへの貸出について、低金利を求める姿勢を示していることもマイナスになっている可能性がある。今後も引き続き、預貸利ザヤの悪化リスクには注意が必要だろう。

図表2　株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会　　有効期限作成日より180日　　News20261117
主な事業　金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。